

令和2年度 事業報告

人口減少、少子高齢化が急激に進行する現状において、人生百年時代といわれる昨今、地域を支える元気な高齢者が地域社会の問題解決の担い手としてシルバー人材センターの存在意義がますます大きくクローズアップされており、役割や期待は大きなものになっております。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の世界的な規模での拡大により、世界経済はもとより、日本並びに地域経済においても大きな打撃を受け、全国のシルバー人材センターも同様に会員数の減少、事業実績の落ち込みなど、様々な影響を受けたところが多くありました。

このような状況の中、当シルバーにおいては地域づくりやコミュニティーづくりの担い手として地域社会に貢献することが公益法人であるセンターの重要な役割であるという認識に立ち、令和2年度は「会員拡大」、「女性会員の加入促進」、「就業機会の拡大」を重点に事業を実施してきました。

会員数については、新型コロナの影響で春先に入会説明会を開催してもほとんど参加者がなかった状態が続いたものの、次第に入会者が増加傾向に転じ、さらには1月から3月の会費無料キャンペーンが幸いし、令和元年度に引き続き2年連続で増加となりました。新入会者は73名（男性40名・女性33名）で年度末の会員総数は541名（男性355名・女性186名）となりました。

また、女性会員の加入促進については、女性限定入会説明会を昨年度より多く開催したことと、「保育補助及び児童クラブ補助員研修」の実施、さらには女性会員を特集した情報誌「しるばあば」を市内全戸配布した波及効果などにより、女性会員の増加にも繋がりました。

事業実績については、請負・委任業務で昨年4月・5月の新型コロナの影響による落ち込みはあったものの、剪定等業務、屋内清掃・消毒業務、内職業務などの増加により、徐々にではありましたが夏以降、回復に転じ、契約金額においては前年度比で74万円程の増加となりました。

派遣では、特に就業延人員が大幅に増加し、契約金額は前年度比614万円程の増加でした。

その結果、請負・委任と派遣業務を足した契約金額合計は前年度比688万円程の増加となりました。

派遣業務が増加となった要因は事業所等に対し、令和元年度より始めた「派遣事業のチラシ」の配布がある程度浸透したことが新規受注に繋がってきていることと、保育補助及び児童クラブ補助について関係団体等からの依頼が新規であったことなどが挙げられます。

これからも、一般家庭、事業所等に対するシルバー事業のPRを推進するとともに、積極的に事業所等に出向いて就業機会の一層の確保を図るなど、会員、役職員一人ひとりがシルバー人材センターの意義役割を自覚し、各々の経験と知恵を活かしながら「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、一丸となってシルバー発展のために力を注いで取り組んでまいります。